

ZORRO ルーフカウル PCX(2015)JF56,KF18 用

取扱説明書

取り扱いについてのお願い

■ルーフ支柱について

ルーフ支柱は支柱を支えるための部品ですので、ルーフ支柱にもたれかからないでください。またバイクを起こすときや降車時の移動で支柱を持たないでください。

■ワイパーの使用について

ゾロのスクリーンにはシリコン系ハードコートを施しており、ハードコートをしていないポリカーボネートに比べワイパーの使用による傷がつきにくくなっております。しかしながら、スクリーン表面が水に塗れていない状態でのワイパーの使用や、少雨時での必要以上のワイパーの使用はスクリーン表面のコーティング層を傷つける恐れがあります。スクリーンを長くご使用いただくために、ワイパーのスイッチはこまめに切り替えていただくことをお勧めします。

■スクリーンのお手入れについて

スクリーンの表面を洗淨することで撥水性が保てます。スクリーン、ワイパーブレードの砂埃、汚れは中性洗剤を使用して濡らしたタオル等で拭いてください。また、研磨剤の使用はコーティングが剥がれ本来の性能が損なわれるためお止めください。

■タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はルーフの振動に敏感に大きく影響します。操縦性に悪影響のない範囲でやや低めの設定をお勧めします。

■メンテナンス時のルーフ取り外し要領

整備などでルーフを外す場合はスクリーン下側4本、ルーフ上面の4本のウェルナットを外すことで右画像のようにフロントカウル、スクリーン、ワイパー、ルーフを一体で簡単に外すことができます。（ワイパーコードのカプラーを忘れずに抜く）



■ウェルナットに関して

ルーフカウルの取付に使用するウェルナットは、一度使用する膨れて変形しますが、熱湯に漬けることである程度回復し、再利用できることがあります。また変形が残ったものでも、ビードワックスや洗剤などを少量付けることで差し込み易くなりますが、ある程度時間経過した場合、再利用できないことを考えて、脱着の際は事前に新しいウェルナットをご用意ください。（一つ¥100で販売）

取 付 説 明

必要工具

ドリル,6.5φキリ、内貼りはがしまたはプラスチックヘラ、
一般整備工具（ボックスレンチ、スパナ、ドライバー等）



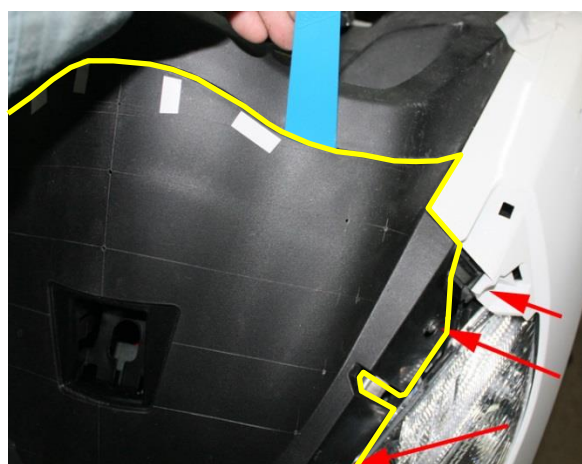
1. スクリーンガーニッシュ（黄線枠）を外す。
（矢印はビスや力の方向を示す。）



2. 内張りはがしやプラスチックのヘラなどでこじる。



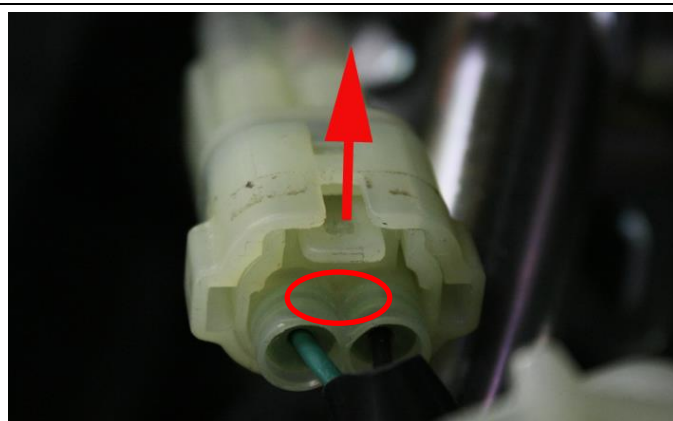
3. スクリーンを外す。



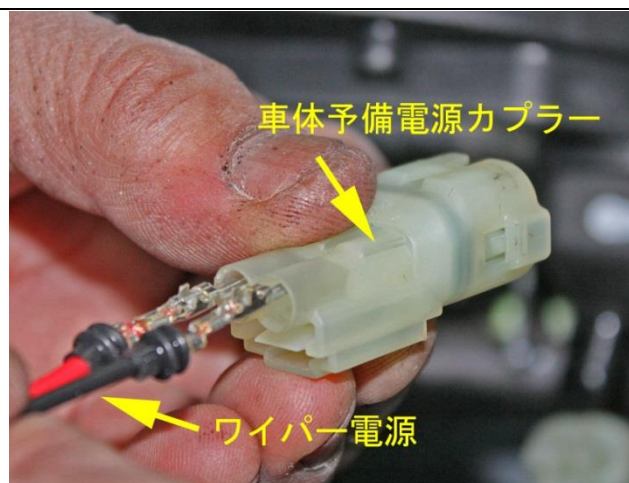
4. メーターバイザーカバー（黄線枠）を外す。
上部はヘラを使う。白いテープの箇所にはツメがある。



5. 巻いてある黒テープを解くとオプション電源のカプラーとギボシ端子が出てくるのでどちらから電源を取る。（オプション電源カプラーを推奨。）



6. 赤丸部を指先で上げながら引っ張るとカプラーが外れる。

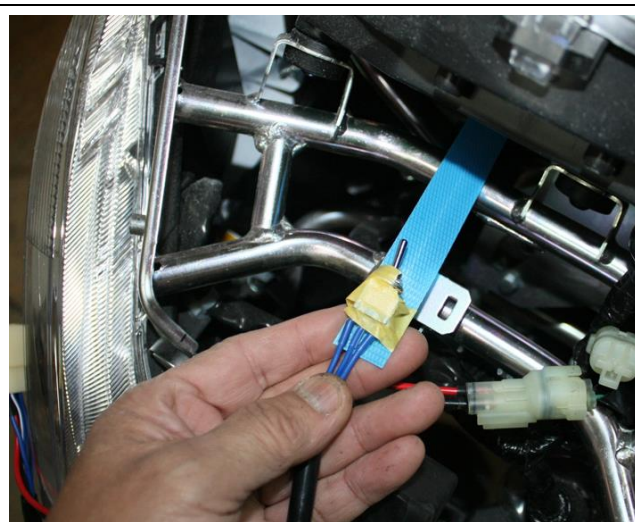


7. 黒いメカブタを抜いてから、赤を左、黒を右。端子裏表も画像のようにし、カチッとすることで押し込み抜けないことを確認して、カプラーを繋ぐ。

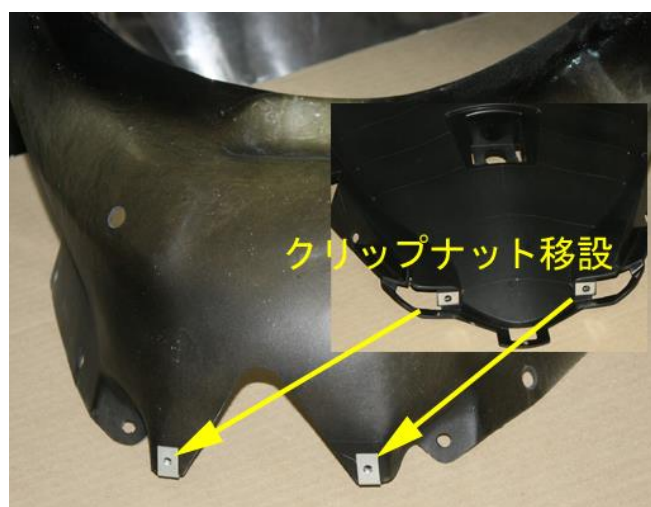
8. 電源がつながった状態。



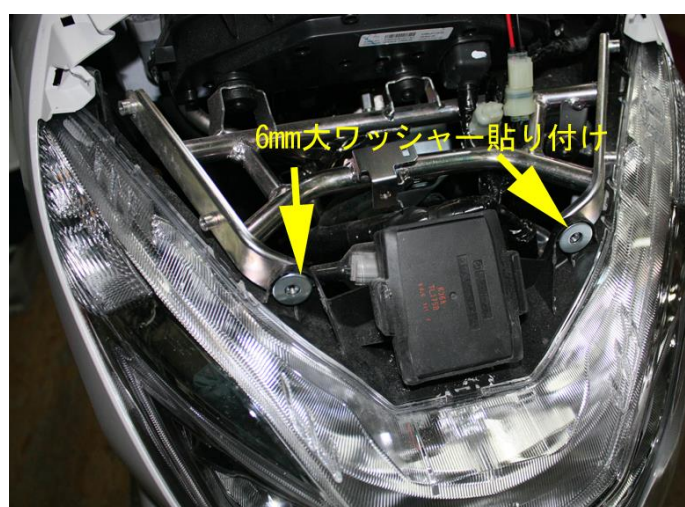
9. ワイパースイッチをハンドルポスト穴から出すために針金、梱包用 PP テープやコンベックス等で誘導する



10. テープなどでスイッチを巻いて引っ張り出す。



11. クリップナットを移設する。左右のミラーを外しておく。



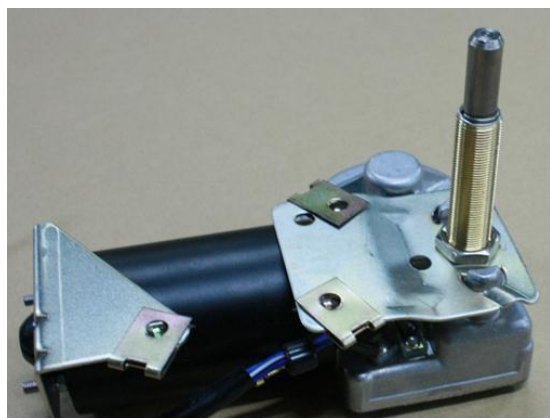
12. ワッシャーの両面テープの剥離紙を剥がし写真位置に貼り付ける。



1 3. フロントブラケットを取り付ける。横は
ノーマルビス+付属スペーサー (5mm 厚)



1 4. スクリーンガーニッシュを戻す。



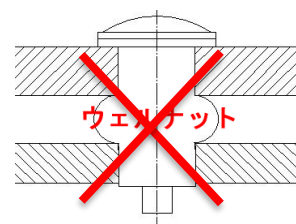
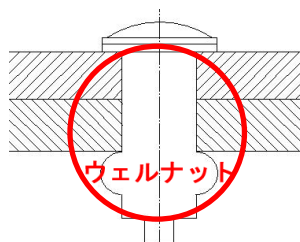
1 5. ワイパーモーターを画像の状態にして



1 6. フロントカウルに取り付ける。



1 7. ワイパーカプラーを接続、作動を確認して
から前から被せる。

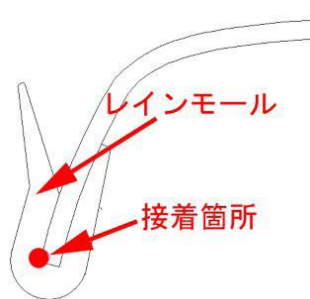


1 8. 次項でウェルナットを使用する。ウェルナ
ットを挿すときはビス頭とナットが接した
状態で行う。(ウェルナットだけが穴に埋没
するのを防止するため) また締める際はス
クリーンとフロントカウル、フロントブラ
ケットの間にすき間が出来ないように押さ
えながら絞めていく。(すき間でウェルナッ
トが膨らむことを防止するため)

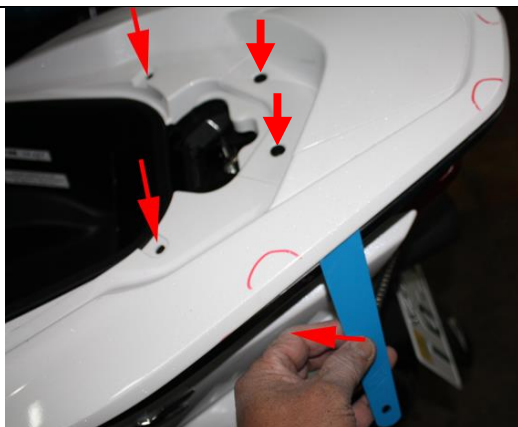


残り4本のウェルナットを穴に差し込む際、スクリーンとフロントカウル、フロントブラケットの穴の位置が合うようにフロントカウルをずらして調整してください。また、ウェルナットの締め付けは全てのウェルナットを穴に差し込んでから行ってください。

19. スクリーンとフロントカウル、フロントブラケットの穴が合うようにフロントカウルを下から持って調整し、赤矢印の2か所をウェルナットで軽く仮留めする。左右のレインモールを表裏を間違えないように画像の位置からスクリーンの真ん中あたりまで取付ける。(19参照) その後、上4本(青矢印)をウェルナットで留める。



レインモールは雨樋が外側になるよう取り付ける。(まだ接着はしない。)



20. タンデムグリップのカバーを外す。赤マジックのところにツメがある。



21. 三角ブラケット用の穴 (6.5φ) をあける。(突き抜けた時に内側を傷つけないように注意する。)



22. 緩み止めナット使用して三角ブラケットを付ける。タンデムグリップカバーを元に戻す。(ボックスを取り付ける場合はタンデムグリップカバーに付いているふたは外したまま。)



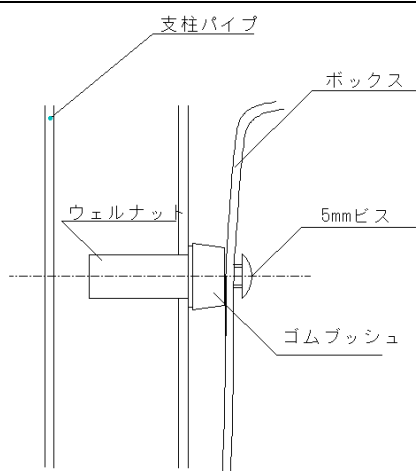
23. 縦型ボックスを併用しない場合は支柱を立て、ナットを少し締める。



24. 縦型ボックス併用の場合はボックスを先に付けることで支柱が自立する。(25、26はボックス併用の場合のみ)



25. スペーサーを置いて(長さが2種類あるので注意)キャリアを皿ビスで固定。(まだ支柱は付けない)



26. ボックス底面をキャリアに仮締めしてから、ボックス上部を支柱に固定する。(後の工程でボックス底面のビスを本締めするので、ここでは仮締めのままにする)



27. ルーフとスクリーンを接続。縦型ボックスを併用しない場合、支柱が完全には自立しないので、ダンボール(92cm)を折って支えにする。その後支柱とルーフをウェルナットを使用して接続する。スクリーンの真ん中まで取り付けたレインモールをスクリーン上部、ルーフに取り付ける。

(縦型ボックス併用の場合は、ルーフと支柱を接続した後、ボックス底面のビスをいったん緩めて本締めする)



28. スクリーンとルーフの僅かの段差のため雨水がその隙間から入り込み溝底を伝って途中で漏れだす場合がある。わずかの隙間もないよう細い棒などで充填剤を押し込む。



29. レインモールを接着。モールをめくって奥(下)へ5cm 間隔で適量点付。この時接着材がはみ出さないよう出し過ぎに注意する。(硬化時の湿度によっては、はみ出た部分の接着材が白くなるため。) 1か所付けるたびに、レインモールを下から押さえる。

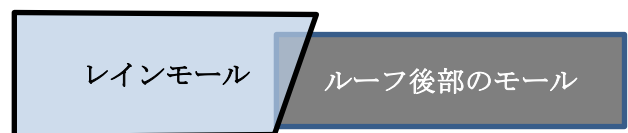
※接着材がはみ出した場合は爪楊枝等であらかた取り除いてから乾いたティッシュで拭きとると白くならず仕上がります。

※点付けの幅が広すぎると、日経ってから接着していない部分がたるむことがあります。



30. ルーフ後部のモールの下端とレインモールの下端がぴったりと合うように、レインモール上端がルーフ後部のモールに被るよう斜めにニッパーで切る

やや斜めにカット ↓



↑
ルーフ後部のモールと合わせる



3 1. ワイパーアームとワイパーブレードを間にゴムシートを挟んでワイパー用のビスとナットで取付ける。ビスの穴に割りピンを差し込んで広げ、ナットが外れないようにする。



3 3. 小判型のゴム、ワイパーアームの順に取付け、台座部の中央をビス止めする。モーターシャフトにゴムワッシャー、金属ワッシャーを通しナットを締める。(締めすぎに注意) 緑矢印位置の黒のゴムは押し込みすぎると穴が広がりモーター内部に水が浸入しやすくなるため写真位置でとめる。

赤矢印位置の締め付けトルクは $24 \text{ N} \cdot \text{m}$

3 2. ワイパーアームを付ける前にワイパーモーターを定位置停止の状態にするため以下の作業を行う。

メインスイッチを回してからモータースイッチを ON、作動確認してモータースイッチ OFF その後メインスイッチ OFF。

《これでワイパーモーターは定位置停止(アクセルグリップ側)で停止した事になる》

モーターシャフトに目印のテープを張ると目視確認しやすい。

定位置停止でない状態で、アームを固定し作動させると、作動範囲外で動くためスクリーン、カウルを傷つけてしまうので要注意。



3 4. 右上の矢印位置のビスを緩めワイパーブレードの角度が 7 cm になるよう調整して再びビスを締める



35. ハンドルめっき部分のスクリーンへの映り込み防止のためタイラップでカバーをつける。



36. 10mmドリルで穴あけした後、ウェルナットで留める。 (カタカタ音防止のため)



37. 左ミラー取付穴に付属のスイッチボックスを付属ステンボルトでとめる。左右マスターシリンダのハンドルクランプを付属のミラーホルダーに交換し、ミラーを移設する。



真上から見て左ミラーアームを8時の位置（ハンドルと平行）、右ミラーアームを4時の位置（ハンドルと平行）に角度調整し、ミラーの角度を見やすい角度に調整する。

38. 元の右ミラー取付穴に付属のキャップを取り付ける

以上で取り付け終了です。